



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

新型コロナ5類へ移行

～交流の活性化と地域の魅力向上を目指して～

最初に、5月5日に発生した石川県能登地方を震源とする震度6強の地震により、亡くなられた方に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、本市では、これからたまねぎの収穫期を終えた圃場に水が張られると、まばゆいばかりの水面の反射に「夏到来間近」を感じさせられる季節になってまいります。また、4月から5月にかけては、市内各所で春祭りが行われ、だんじりの曳行も昨年に増して復活し、30回目となった「鱧供養祭」でハモすきのふるまいも4年ぶりに再開されました。永く停滞した社会・経済活動がようやく本来の姿を取り戻しつつあると感じています。本市では、コミュニティ力の再強化をめざし、昨年度から「地域行事等再開応援事業」による支援に取り組んでまいりました。この事業を市内全ての地域づくり協議会、及び8割を超える自治会においてご活用いただくことができたことも、賑わいを取り戻す一助になったのではないかと実感しています。今年度は、一歩進めて、地域活

動の担い手を育成する取り組みを支援する事業を開始しており、これも積極的な活用を期待しています。

さて、新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザと同等の5類感染症へと位置づけられ、感染対策の実施は個人・事業者の判断が基本となりました。

一方で、新型コロナが終息したということではありませんので、市民の皆さま、事業者の皆さまにおかれては、手洗いなどの手指衛生、換気など、基本的な感染対策に引き続きご配慮くださいますようお願い申し上げます。

新型コロナワクチン接種については、本年度は、国の負担により無料で実施されます。既に、初回接種（1・2回目）を終えられている、65歳以上の方、基礎疾患のある方、医療従事者や介護従事者の方向けにご案内を差し上げているところです。また、9月以降には、初回接種を完了された5歳以上のすべての方に接種のご案内ができるよう準備を進めてまいります。なお、初回接種がまだの方で接種を希望される方は、まず、初回接種を受けていただきますようお願いいたします。

新型コロナ感染症が続く間に、テレワークの急速な普及など世の中の意識もさまざまに変化してきました。私は、これにより地域の対面での交流や助け合いの重要性はむしろ増したのではないかと考えています。

皆さまにおかれては、まずもって、これまでの3年超にわたる感染拡大防止や需要喚起の事業への積極的なご協力に改めて感謝申し上げます。引き続き、行政としては、更なる地域のつながり強化、魅力の増進を図るべく全力で取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

春の叙勲と褒章

令和5年春の叙勲・褒章が4月29日付で発令され、南あわじ市内からは5人が受章されました。



春の叙勲 旭日双光章

元(一社)兵庫県建設業協会副会長

もり ながよし 森 長義 さん (賀集)

森さんは、淡路島の大手総合建設会社のトップとして国内外の大規模プロジェクトに参画し、社会貢献に尽力されました。また、兵庫県建設業協会の要職も務め、地域の発展に尽くされました。この度の受章は、平成26年に褒章を受けられたことに続く受章です。



春の叙勲 旭日小綬章

元南あわじ市議会議員

のぼりざと しんいち 登里 伸一 さん (津井)

登里さんは、平成元年に西淡町議会議員に初当選し、令和3年11月までの7期27年11カ月にわたり在職。平成20年に郷土文化交流団の団長として西豪州を訪問し文化交流を深めるとともに、コアラの迎え入れに尽力されるなど、南あわじ市の発展に貢献されました。



春の叙勲 瑞宝単光章

元各種統計調査員

すが みちこ 菅 道子 さん (阿那賀)

菅さんは、昭和49年以降国勢調査、農林業センサス、工業統計調査などの各種統計調査に計82回にわたり従事し、常に精度の高い調査に貢献されました。十分な説明と誠意ある対応で熱心に調査活動に取り組む姿勢は、他の調査員の模範となっています。



春の叙勲 瑞宝双光章

元日本郵政公社職員

かとう まさたか 加藤 正隆 さん (賀集)

加藤さんは、郵政省に入省後7年間の大阪勤務を経て、出身地である賀集で30年にわたり特定郵便局長を務められました。郵政民営化により郵便局の業務が激変した際には、地域の人の声を大切にした地域密着型の郵便局を目指し、課題解決に尽力されました。



春の叙勲 瑞宝小綬章

元兵庫県健康福祉部長

くぼ しゅういち 久保 修一 さん (賀集)

久保さんは、38年にわたり兵庫県職員を勤められました。介護保険課長や健康局長、福祉局長、健康福祉部長など、健康や福祉に関する分野で長く活躍され、介護保険制度を安定的に受けられるための準備や感染症対策、障害者の就労支援などに尽力されました。



守本市長が講演

5月9日に農学部1年生を対象にした必修科目「グローバルスタディーズ入門」で守本市長が登壇しました。

今年度は地域創成農学科の学生と新たに新設された海洋水産生物学科の学生も加わり、多くの学生が守本市長の講演を聴講しました。島外からの下宿生が大半を占めている中、市長から直接南あわじ市に関する説明を頂いたことで、特産品・観光地のみならず、市がめざす将来像、重点事業など現時点での市の取り組みがイメージ



守本市長による講演の様子

オープンキャンパス

日時 7月16日(日) 11:00～15:30  
場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス  
内容 学科紹介、ミニ講義、個別相談など  
申込み 入試広報室 ☎0120-25-9944

できる貴重な時間となりました。加えて、これから4年間を過ごす南あわじ市を知ることができる有意義な90分となりました。守本市長をはじめ、南あわじ市職員の方々には大変お世話になりました。今後とも市民の皆さまには学生のご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎42-4700